専門教育科目　講義科目

科目名：	FPのためのリスク管理	科目コード	EH57
		単位	2
科目主査： 峰尾 茂克	担当講師： 峰尾 茂克	配当年次	3・4

授業の目的と概要	グループワーク： ☐ あり ☑ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

リスク管理とは、個人や法人などを取り巻くリスクを分析して、そのリスクを保険でカバーできる部分は、保険に転嫁する、リスクマネジメントの手法の一つです。
本科目では、生命保険、損害保険、第三分野の保険の仕組みや特徴を理解して、個人の日常生活におけるライフプランや企業で発生するリスクに対応する手法を学習します。 この分野が習得できると、保険の合理的な選択の可能性が広がります。

履修の前提となる科目	☐ あり ☑ なし	**科目名：**前提科目ではありませんが、ファイナンシャル・プランニング技能検定の6科目。
履修の前提となる知識 その他特記事項	テキストの内容が完全に理解できなくとも、各章の冒頭にある「この章のポイント」を読み、章ごとに各段階で何を学ぶのかを確認しながら読んでください。「ケーススタディ」と章末の「理解度テスト」を解いてください。	
テキスト	「2級FP技能士（AFP）試験対策　リスク管理　基本テキスト」TAC株式会社,最新版 （「テキスト参照」は、最新版の内容で記載しています。）	

この科目の 到達目標	①保険に関する基礎的用語を理解し、代表的な商品の仕組みや特徴、ライフプラン上での保険の利用方法を説明でき、支払保険料、受取保険金など税務上、会計上の処理ができる。 ②保険証券の読み取りや保険内容の説明ができ、具体的な家計の事例から問題点を把握し、解決策（保険プラン）を提案できる。
成績評価 の 方 法	授業中に学習項目ごとに演習問題を解き、また、授業内容について課題を課します。これらの授業態度や課題提出状況等をもって授業に取り組む姿勢とみなします。また、ファイナンシャル・プランニングでは、個人や企業オーナー、従業員のニーズに合った保険商品を理解できるかが成績評価の対象になります。それには様々な保険商品の基礎知識を習得することや保険加入状況のコンサルができることが必要になります。成績評価は客観的知識の習得と保険加入状況の分析及び提案内容を基準とします。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	FP技能検定の学科試験過去問題を３回分解いてみれば、自分の実力がどのくらいか判定できます。３回分で誤った箇所をリストアップして自分なりの要約【ポイント】をサブノートにまとめて、繰り返し確認してください。
事後学習の 参考文献	『みんなが欲しかった！FPの教科書 ２級・AFP（最新版）』滝澤 ななみ，TAC出版 『みんなが欲しかった！FPの問題集 ２級・AFP（最新版）』滝澤 ななみ，TAC出版 『ベーシック リスクと保険 用語辞典』 赤堀 勝彦，金融ブックス　2015年4月

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑電卓 ☑カメラ・マイクは必須となります。